

基本属性

ここで説明する基本属性は、分析の中心である首都圏の幼稚園児・保育園児の子どもをもつ母親3,477人を母体とした数値である。

A 子どもの属性

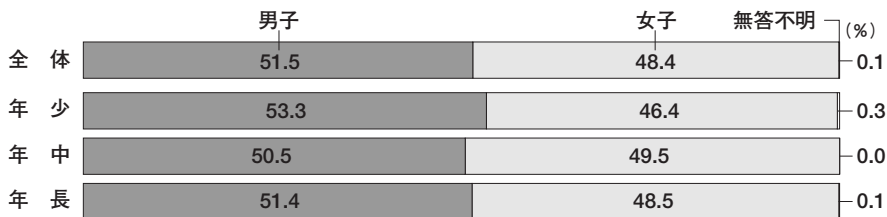
子どもの性別は、「男子」51.5%、「女子」48.4%とわずかに男子が多い(図A-1)。

学年は、「年少」(幼稚園年少児クラスと保育園3歳児クラス)21.6%、「年中」(幼稚園年中児クラスと保育園4歳児クラス)38.3%、「年長」(幼稚園年長児クラスと保育園5歳児クラス)39.4%である(図A-2)。

子どもの出生順位は、「第1子」が51.3%と多く、続いて「第2子」36.6%、「第3子」9.8%、「第4子以降」1.8%である(図A-3)。

幼稚園・保育園の種類は、全体では「公立」が39.8%、「私立」が60.2%である。幼稚園では「公立」が44.3%、「私立」が55.7%、保育園では「公立」が31.8%、「私立」が68.2%である(図A-4)。

■図A-1 子どもの性別(学年別)



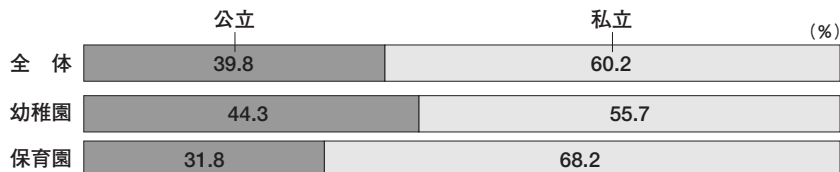
■図A-2 子どもの学年



■図A-3 子どもの出生順位



■図A-4 幼稚園・保育園の種類



B 保護者の属性

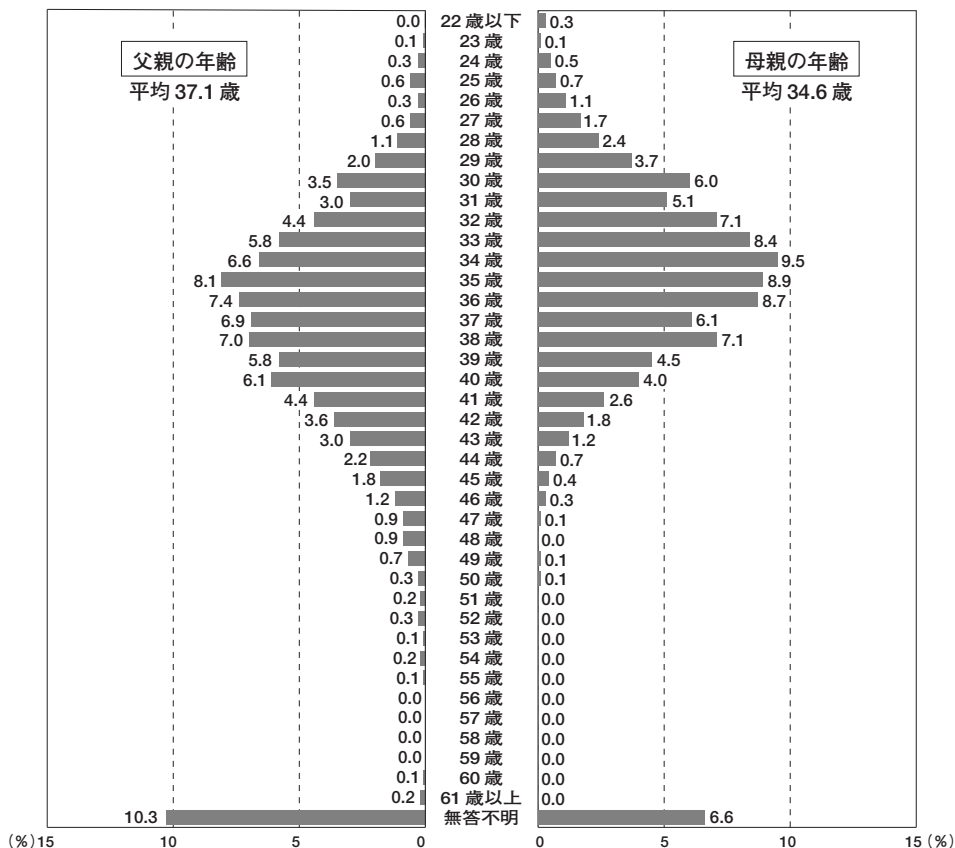
保護者の年代層の中心は30代である（図B-1）。平均年齢は、年少児の子どもをもつ父親36.3歳、母親33.9歳、年中児の子どもをもつ父親36.9歳、母親34.3歳、年長児の子どもをもつ父親37.8歳、母親35.3歳と、学年が上がるにつれて平均年齢も上がる（表B-1）。

父親の職種は、「事務職（官公庁や民間企業の一般事務、経理、営業職など）」「技能労働（製造、修理、大工、とび職などの熟練労働）」「管理職（官公庁や民間企業の課長以上の管理職）」などが多い（図B-2）。

母親の就労状況は、「専業主婦」49.2%、「パートやフリー（在宅ワークを含む）」（以下、パート）27.3%、「常勤（フルタイム）」18.1%である（図B-3）。

「パート」「常勤」の母親の職種をみると、「販売職・サービス職（販売店員、美容師、クリーニング、接客など）」「事務職（官公庁や民間企業の一般事務、経理、営業職など）」「専門職（教師、医師、看護師、法律家、研究者など）」が多かった（図B-4）。とくに、「パート」では「販売職・サービス職」が多く、「常勤」では「事務職」「専門職」が多かった。

■図B-1 父親・母親の年齢

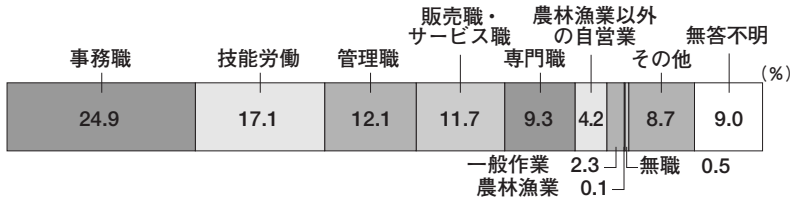


■表 B-1 父親・母親の平均年齢

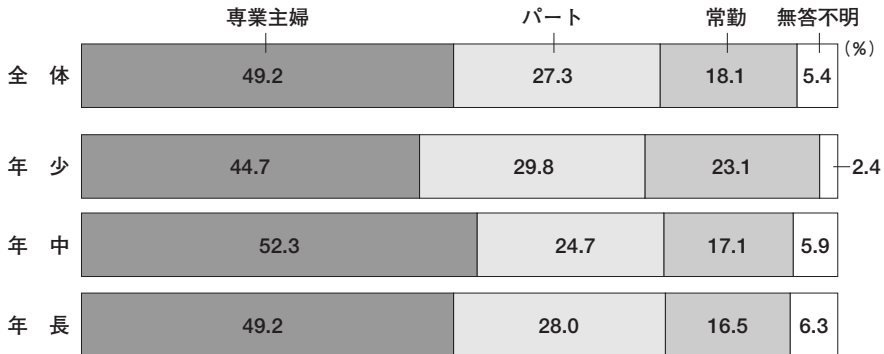
(歳)

	年少	年中	年長
父親	36.3	36.9	37.8
母親	33.9	34.3	35.3

■図 B-2 父親の職種



■図 B-3 母親の就労状況



■図 B-4 母親の職種

